

18. 各治水対策案の総額の積算根拠

各治水対策案の総額の積算根拠

\		ケース1 サンルダム案	ケース2 遊水地案 (天塩川+名寄川)	ケース3 遊水地案 (名寄川)
総事業費		約1,200億円	約1,320億円	約1,580億円
	河川改修	約830億円	約970億円	約870億円
	掘削等	186億円	266億円	177億円
	築堤等	387億円	381億円	387億円
	構造物改築	103億円	149億円	149億円
	用地・補償費	11億円	11億円	11億円
	調査・測量等	137億円	162億円	145億円
	洪水調節施設	約370億円	約350億円	約710億円
	工事費 (施設整備等)	271億円	253億円	493億円
	用地・補償費	26億円	34億円	96億円
	調査・測量等	71億円	57億円	118億円

19. サンプルダム建設事業の費用対効果

サンルダム建設事業の費用対効果

ダム事業に要する総費用（治水分）（C）	3 2 1 億円	現在価値化後
①全体事業費	530億円	
②治水負担分	367億円	全体事業費のうち治水負担率69.2%（河川分担分98.9%を治水容量割合で配分）
③ダム事業費	303億円	現在価値化後、25年間分
④維持管理費	25億円	現在価値化後、50年間分
⑤残存価値	7億円	現在価値化後、評価期間終了時
⑥総費用（③+④-⑤）	321億円	現在価値化後、75年間分

ダム事業の総便益（治水分）（B）	5 5 4 億円	現在価値化後
①評価時点	平成13年	
②評価対象期間	50年間	平成25年～平成74年 ※H25供用とした場合
③年平均被害軽減期待額	40億円	平成13年単価、 1/100確率規模まで
④総便益	554億円	現在価値化後、50年間分

費用便益分析の結果		
治水に係わるB/C＝	1.73	※適用マニュアル 治水経済調査マニュアル (H12.5)